

第69回秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

準決勝		楽天Koboスタジアム宮城		1 時間 44 分				打安点盗犠四三残失併	
仙 台 育 英	1 3 1	2 0 0	0	7	【仙】	32 10 6 3 1 1 2 6 0 0			
仙 台 城 南	0 0 0	0 0 0	0	0	【仙】	23 4 0 0 1 1 5 4 3 0			
				(7回コールド)				▽本塁打 なし	
(球)	雁部	(一)	加藤正	(二)	松下	(三)	手塚	▽三塁打 西巻(育), 浅野友(城)	
【仙】	長谷川・佐藤・佐川	—	尾崎・渡部					▽二塁打 佐川, 尾崎, 齋藤, 山田, 鈴木 (育)	
【仙】	浅野友	—	山内					なし (育)	
▽暴投 なし		▽捕逸 なし							

【評】

仙台育英は、序盤から仙台城南の主戦浅野友の立ち上がりを攻め、10本の長短打で圧倒し、7回コールドで勝利した。初回二死後から連続二塁打で先制。2回は8番小川、9番長谷川の連続安打と1番西巻の四球で一死満塁とし、三塁牽制悪送球、2番齋藤の走者一掃の左二塁打で3点追加した。3回には先頭5番山田が右二塁打で出塁。次打者で三進後、7番若山の犠飛で生還した。そして4回には先頭9番長谷川の中前安打を足掛かりに、1番西巻の右中間三塁打で加点。3番佐川の一塁ゴロの間に7点目を奪い、試合を決めた。

仙台城南は、2回先頭6番浅野友が右越え三塁打を放ち、代打齋藤の投ゴロで本塁を狙ったが、長谷川の好送球に阻まれ、得点機を逃した。仙台育英の投手陣（長谷川、佐藤、佐川）の前に散発4安打と打線は沈黙し、涙をのんだ。

準決勝		楽天Koboスタジアム宮城		1 時間 59 分				打安点盗犠四三残失併	
東 陵	1 0 0	0 0 0	0 3 0	4	【東】	29 6 4 0 3 5 4 6 1 1			
利 府	0 0 0	1 0 0	0 0 1	2	【利】	34 7 2 0 1 0 2 6 0 0			
				()				▽本塁打 なし	
(球)	武田	(一)	高橋勝	(二)	菅原久	(三)	佐々木勝	▽三塁打 なし	
【東】	佐藤	—	松田・三谷					▽二塁打 なし (東)	
【利】	遠藤・畠山・佐藤	—	二瓶					なし (利)	
▽暴投 佐藤2(東)		▽捕逸 なし							

【評】

先攻の東陵は初回、1番佐々木が中前安打で出塁しボークによる二塁進塁から、3番佐藤のショート強襲安打で1点を先取した。一方、利府も4回裏、2番河井が左前安打で出塁しボークで二塁に進塁後、4番木村の中前適時打で同点に追いついた。その後、東陵・佐藤と3回から登板した利府・畠山の投げ合いが続いたが、東陵は8回、一死から1番佐々木・2番鈴木の出塁後、3番佐藤の左前安打で満塁とし、4番小野の押し出し四球、5番小野寺の左犠飛、6番石原の右前適時打で3点を奪い、勝利を決定づけた。利府は9回裏、4番木村の振り逃げと5番大石の中前安打で無死一・二塁とし、6番瀬戸は右翼手の好守備により打ち取られたが、7番二瓶の中前適時打で1点を取り食い下がった。しかし後続が併殺に打ち取られ、2試合連続の逆転勝利には至らなかった。